

平成30年3月13日

保護者の皆様

仙台市立吉成小学校  
校長 佐藤 由美

## 平成29年度 仙台市立吉成小学校協働型学校評価の自己評価結果と 学校関係者評価委員会の評価について

平成29年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様方には、この1年間、本校の教育に対しご理解とご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

さて、過日、学校関係者評価委員会（委員5名、学校2名）を開催し、平成29年度の協働型学校評価の重点目標について、達成度や今後に向けての改善の方向などについて検討いたしました。

学校としての自己評価と委員の皆様から寄せられたご意見について、別添のとおり御報告いたします。

<p>【問い合わせ先】 仙台市立吉成小学校 教頭 佐藤 康隆 電話 279-1713</p>
--

# 平成29年度協働型学校評価の自己評価結果と学校関係者評価委員会の評価について

## 1 アンケート調査の結果から

■アンケート実施日 12月6日（水）～12月13日（水）

■アンケートの対象者 保護者 216人  
地域の方 24人

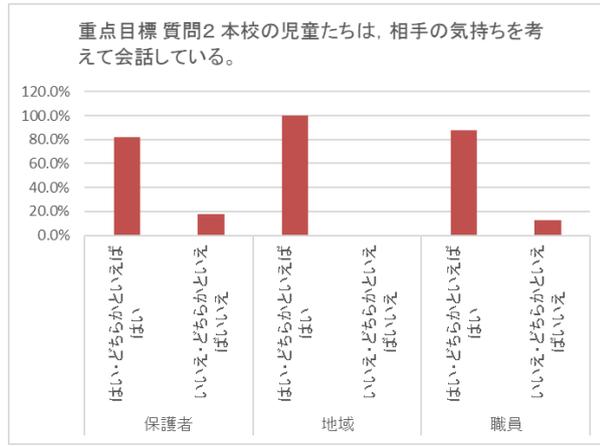
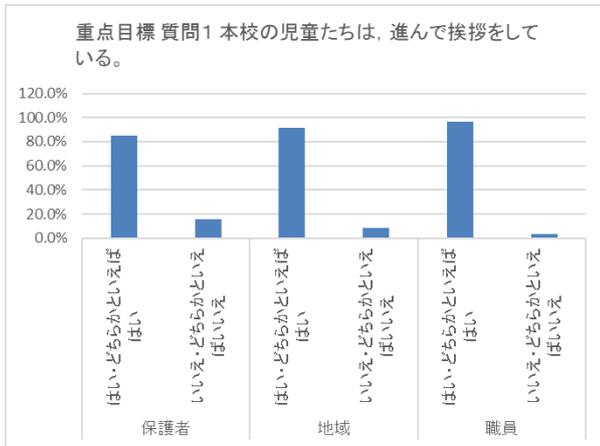
（学校評議員，学校関係者評価委員，防犯ボランティア巡視員，小1学習生活サポーター，町内会長，学校支援地域本部スーパーバイザー他）

学校職員 28人  
児童 317人

## 協働型重点目標について

○平成29年度 重点目標

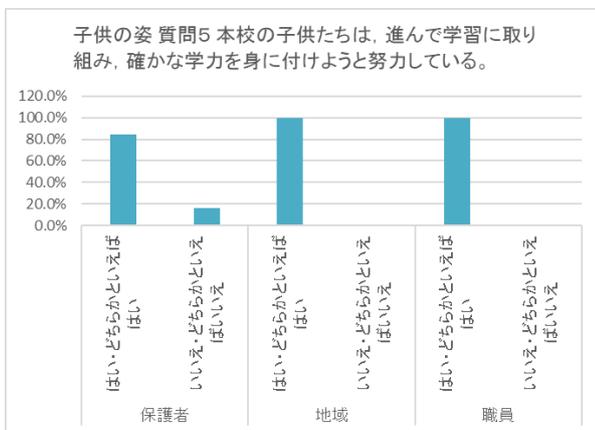
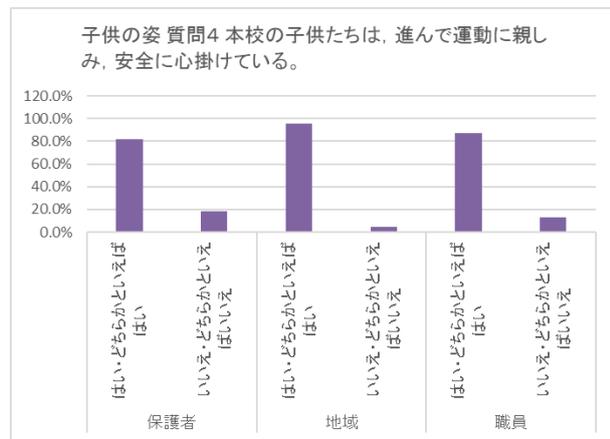
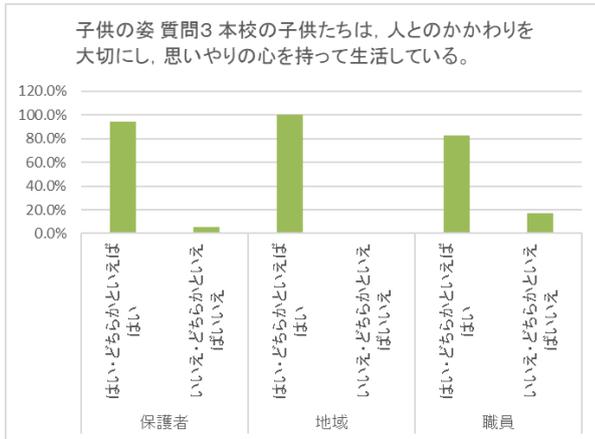
- 1 進んで挨拶ができる児童の育成
- 2 温かい言葉で交流する児童の育成



重点目標の1，2に対しては，保護者の方の8割，地域の皆様の9割を超える方から肯定的な回答（「はい」または「どちらかといえばはい」）をいただいています。学校で児童の活動にご協力いただいている地域の方からの評価は非常に高くなっています。ご家庭での様子を見ている保護者の皆様からはやや厳しい評価となっています。

今後も，挨拶運動の継続，道徳の授業などを通して，地域や家庭でも進んで挨拶をし，思いやりを持った会話ができる児童を育てていきたいと思ひます。

## 子供の姿について

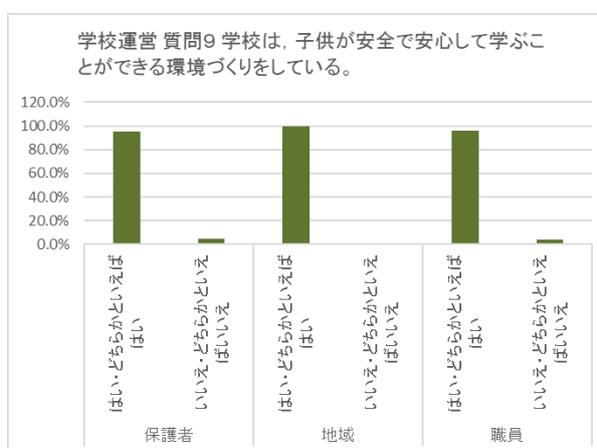
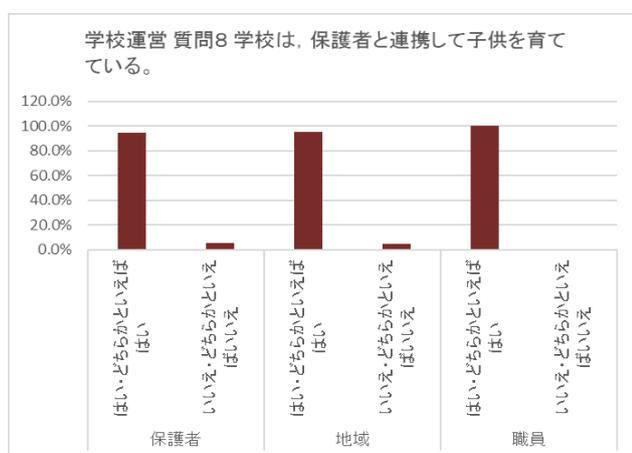
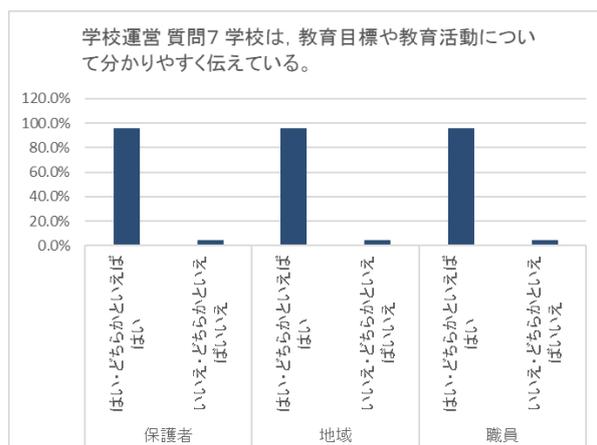
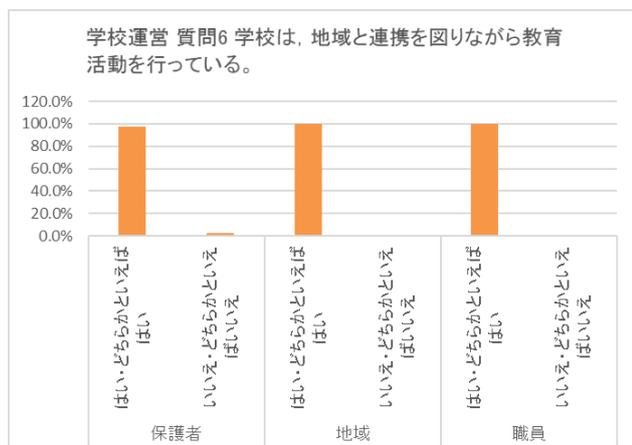


人とのかかわり、思いやりの心については、保護者、地域の皆様ともに、肯定的にとらえている方が9割を超えています。学校内で児童同士のかかわりを日々見つめている職員からは、児童からの相談やトラブルの指導を受けていることもあり、さらに改善の余地があるのではないかと評価しています。

運動に対する取組は、3者とも8割が肯定的にとらえていますが、保護者からの否定的な回答（「いいえ」または「どちらかといえばいいえ」）がやや多い傾向です。ここ数年、仙台市内の他の小学校に比べて運動能力検査の結果が思わしくないため、学校として、児童の体力向上に向けての取組を進めているところです。

学習に対する取組は、地域、職員が100パーセント肯定的にとらえていますが、保護者の2割近くが否定的にとらえています。学校での頑張りを理解したうえで、家庭での学習をさらに頑張してほしいという期待を込めたご意見と思われる。児童が一生懸命学習に取り組んでいる様子をお便りやホームページで積極的にお知らせしていきたいと思っております。学年に応じた家庭学習への取組方なども紹介し、学校でも家庭でも児童が日々頑張っていることをご理解いただければと思います。

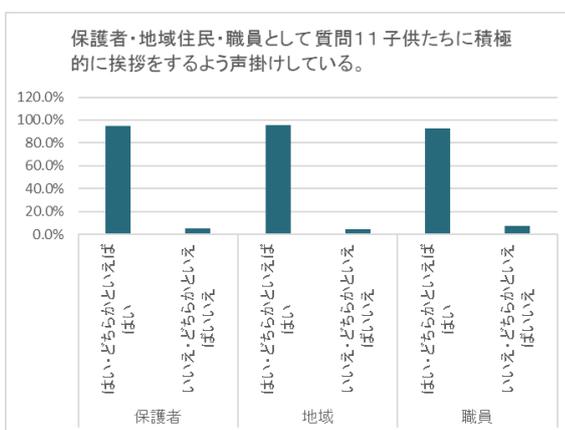
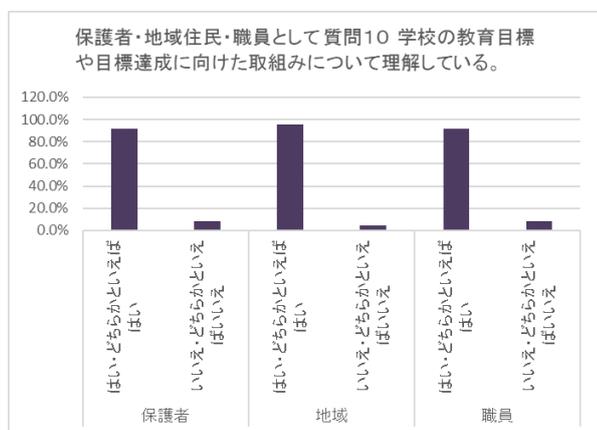
## 学校運営について

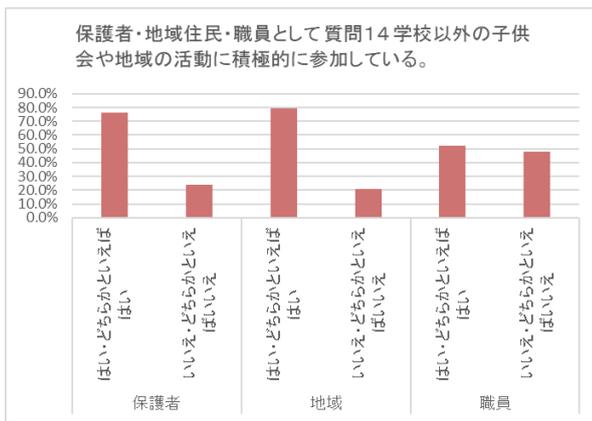
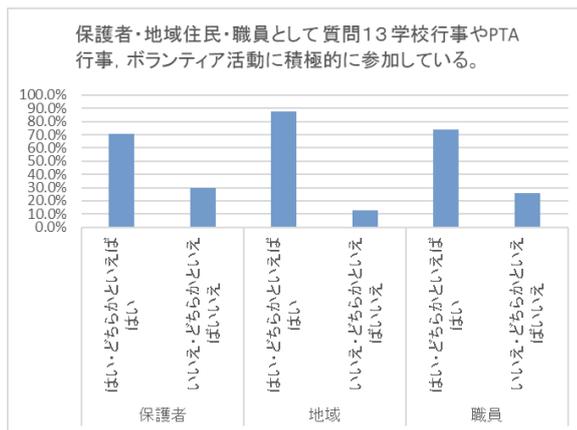
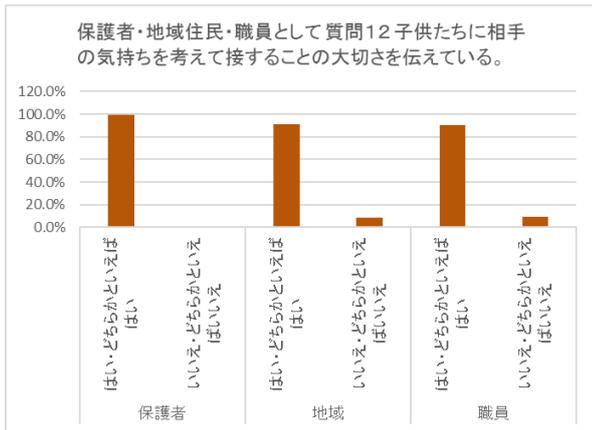


地域や家庭との連携については、保護者、地域の皆様から高い評価をいただきました。今後も積極的に情報を発信し、家庭や地域と手を携えて協働していきたいと考えています。

学校が児童にとって安心安全な場所であることは、何事よりも優先されることです。しかし、毎日の生活や児童同士のかかわりの中で、残念ながら事故やけがが起きてしまった場合は、学校として、速やかにご家庭にお知らせをしたうえで、適切な対応を心掛けていきます。

## 保護者・地域住民・職員として



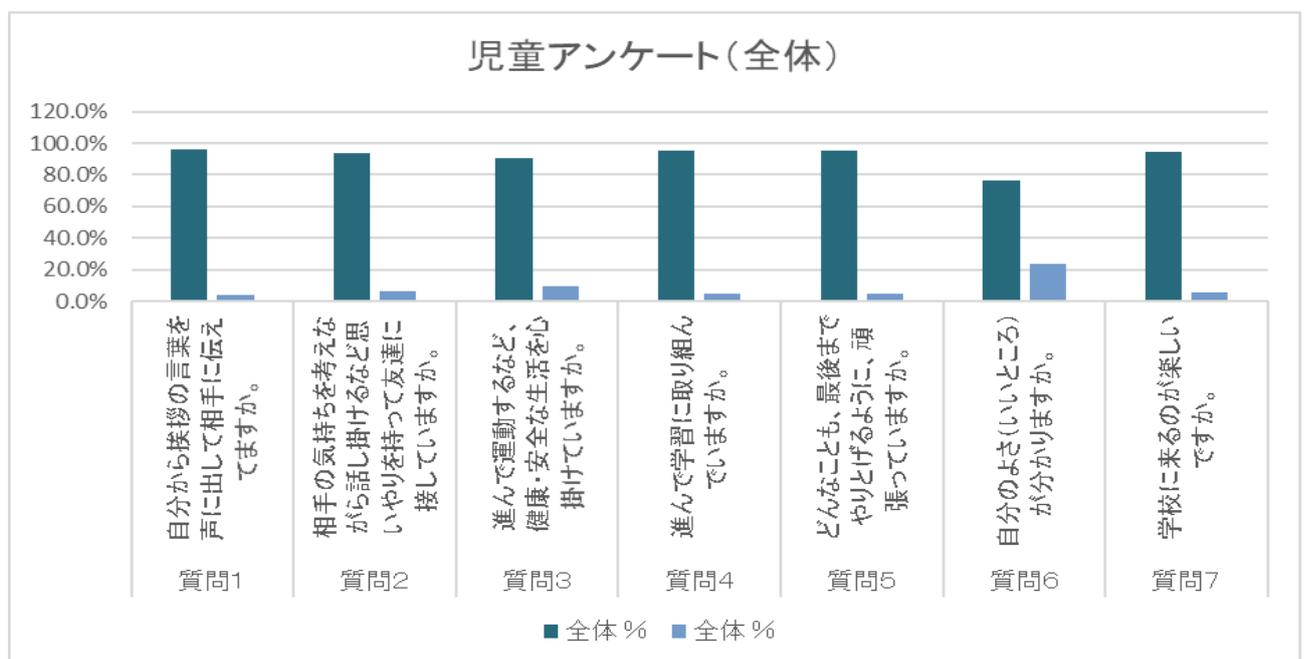


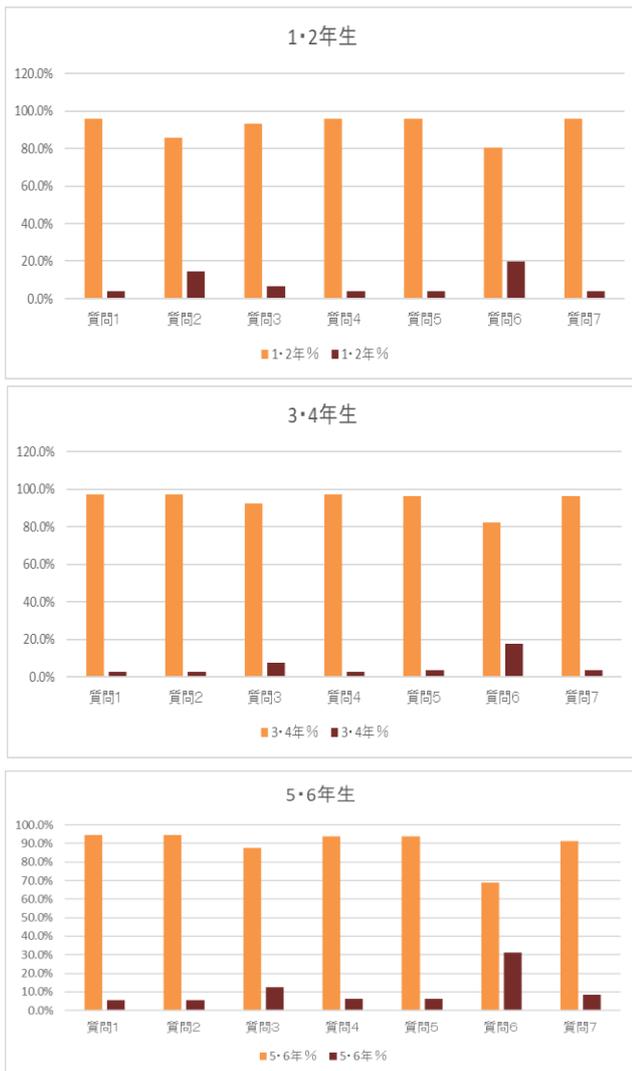
今アンケートの結果から、保護者の皆様や地域の皆様が、本校の学校目標や協働型重点目標をご理解くださり、日頃からお自分のお子さんや地域の子供たちに温かく、そして厳しくご指導くださっていることがわかります。

学校行事やPTA行事等になかなか参加できない方が多いという結果が出ています。お仕事やご家庭の都合で、学校や地域の行事への参加が難しいということだと思います。

年間行事を計画する際、保護者の皆様や地域の皆様が参加しやすいよう工夫していきたいと思います。また、学校支援地域本部スーパーバイザー様、小1生活学習サポーター様、防犯巡視ボランティア様、各町内会の皆様方などにもご協力をいただきながら教育活動を進めて参りたいと思います。

## 児童アンケートの結果から





ほぼ全ての質問に対し、9割を超える児童が肯定的な回答をしています。質問6「自分の良さがわかりますか」という質問に、全体の2割を超える児童が否定的な回答をしました。自分の良さを理解することでさらに次のステップへ進むことにつながります。自己肯定感が強い児童ほど、自信を持って学校生活を送ることができ、さらに、他者への思いやりのある行動にもつながります。児童の努力や成果を大いに認め、自らのやる気を引き出すような指導を継続していきたいと思います。

質問7の学校が楽しいと思う理由で最も多かったのは「友達とのかかわり」で約4割で、「学習」を楽しい理由に挙げている児童が次に多く全体の3割でした。楽しくないと回答した割合は全体の1割でした。その理由として「友達とのかかわり」を挙げた児童が最も多く、約5%でした。楽しくないと回答した児童への支援は、学校全体で丁寧に取り組んでいきます。

低学年の質問2（思いやり）の否定的な回答が多くなっていますが、中・高学年ではその割合が低くなっています。自己中心的な考え方が強い傾向にある低学年の特徴と思われます。

高学年の質問3（健康安全）の否定的な回答が低・中学年より高くなっています。外遊びよりも室内遊びや友人との付き合いを優先する児童が増えてきているためと思われます。前述しましたが、学校全体として児童の体力向上のための取組を推進していきます。

## 2 平成30年度に向けて

### 安心・安全について

- 仙台市のいじめ調査、実態把握調査へのご協力ありがとうございました。「命を大切にする教育の重点的かつ継続的な取組」を全市的な最重要課題として取り組んでいるところです。本校でも、調査結果を受けて、児童からの聞き取り、指導、保護者の皆様への報告等を行ってきました。今後とも、他者とのかかわりや様々な活動を通して、自己有用感を高め、他者を大切にする心を育む指導を継続していきます。
- 目、歯、頭部など首から上の部位や胸や腹部の打撲や切り傷については、ご家庭へ連絡をしたうえで、医療機関での受診を基本としています。緊急の場合は、職場へ電話を入れさせていただく場合もあります。

- 保護者の皆様の「みんなのパトロール」、防犯巡視ボランティアの皆様による登下校の見守りなど、児童の交通事故防止にご尽力をいただいています。児童の登下校の時間に合わせて、ご自宅の前などで児童たちに声を掛けていただくと、地域全体の防犯意識のさらなる向上につながると思われます。今後ともご協力をお願いいたします。
- 不審者情報に加え、野生動物の出現など、児童の登下校や帰宅後の生活にかかわる危険については、緊急一斉メール等で随時お知らせをしていきます。近隣学校からの情報が入ることもありますので、時間を空けずに緊急メールでお伝えしていきます。ただ、学校に届いた時点で情報として時間が経っている場合もありますのでご了承ください。SNS やインターネットの正しい利用方法、危険性などについても、児童への防犯教室等で理解を深めさせたいと思います。

### **吉成スタンダード**

- 今年度からスタートした「吉成スタンダード」です。小学校6年間で児童に身に付けさせたい学習習慣や生活習慣を児童に理解しやすいように作成しました。細かい縛りという見方もあるでしょうが、学年が進んでも、担任が代わっても、共通した約束があることで、児童は安心して学習に取り組むことができます。また、「吉成スタンダード」が定着することで、人を頼らず自分で身の回りを片付けたり準備したりすることができるようになることも期待しています。

### **授業・行事について**

- 新学習指導要領の実施に伴い、授業時数の確保が課題となります。児童にとって過密な日程にならないよう配慮しつつも、増える授業内容に対応していかなければなりません。行事の見直しや精選も必要になってきます。保護者の皆様や地域の皆様のご協力をお願いすることもこれまで以上に増えると思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。
- 年間行事予定に沿って教育活動を進めて参りますが、これから決まる学年行事ややむを得ず日程を変更しなければならない場合は、できるだけ早くお知らせいたします。緊急の場合は、一斉メールでお知らせする場合があります。

## **3 学校評価委員会から**

**学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見ご感想をご紹介します。(授業参観をしていただきました。そのご感想も含まれます。)**

- 「吉成学習スタンダード」については、ずいぶん細かいことまで縛りが入っているというご意見もあると思いますが、小学校の低学年のうちからきまりを守るようになれば、高学年や中学生になってもよい学習習慣が身に付いていくのではないのでしょうか。
- 1年生の成長に驚かされました。(授業参観で行っていた)おもちゃ屋さんの活動では児童なりの工夫がされていました。また、そこで遊ばせてもらっている2年生の成長も感じました。
- 行儀のよい子が多いです。吉成中学校でもその良さが継続しているようです。他の中学校では難しいことと聞いていますので、これまでの指導に感謝しています。

- 高学年の児童が「自己肯定感」のポイントが低いということが気に掛かります。褒めて育てることが大切だと思います。囲碁や将棋の世界で若い世代が活躍しているようですが、若いうちに自分の長所や良さに気付くことができていたのではないのでしょうか。
- 運動に親しむ機会が少なくなっているので、「RUN ランタイム」などのような機会はよいと思います。
- 児童の思いやりの心をいろいろなところで育ててほしいと思います。家庭での教育が大事なのではないのでしょうか。
- 学校の先生方が忙しい思いをしているようです。お手伝いできることがあればしていきたいと思っています。そんな中でも、子供たちが立派に成長しているのが今日の参観でも感じられました。
- 学習指導要領が改定になるこの時期が忙しくなります。道徳が教科化されることによる、評価の在り方や時数が増えることへの対策等でますます忙しくなるでしょう。学校の努力事項はどれも省くことができないことと思います。しかし、これらを全てしっかり取り組むことになれば、学校も児童も疲弊してしまい大変になってしまいます。重点的に取り組むことを決めたり、月ごとに重点を決めたり、メリハリをつけて取り組んでいくことも必要なのではないのでしょうか。学校が困っているときには地域が手を差し伸べていきたいと考えています。

児童には、自ら課題を見つけて学んでいくという姿勢を身に付けさせてほしいと思っています。

- 低学年の先生方は、給食時間の中でも採点をしたり連絡帳の返事を書いたりしているようです。空き時間もなくとても忙しそうです。先生方が忙しすぎて、児童らと話をする機会がないと、いじめにも気づくことができないのではないのでしょうか。省けるところは省いてでも、もっと児童たちと向き合う時間を作っていただきたいと思います。

## 4 終わりに

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。学校運営全般について、高い評価をいただいたことに感謝申し上げます。次年度に向けてのご意見等をいただきましたことにも感謝申し上げます。今後の教育活動の参考にさせていただきます。

平成30年度も教育活動に対するご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。